

令和6年度第1回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(長野市版子ども・子育て会議)
会議要旨

- 開催日時 令和6年4月24日(水) 午前11時00分から正午まで
- 開催場所 長野市役所第二庁舎10階 講堂
- 出席委員 水口委員、茅野委員、塚原委員、渡邊委員、和田委員、塚田委員、石田委員、宮本委員、深澤委員、宮下委員、田中(宗)委員、高橋委員、日台委員、青木委員、田中(亜)委員、中村委員、松田委員、相原臨時委員、原田臨時委員、高山臨時委員
- 欠席委員 宮川臨時委員
- 事務局出席者 島田こども未来部長、臼井保健福祉部長、丸山こども政策課長、中村子育て家庭福祉課長、宮下保育・幼稚園課長、島田福祉政策課長ほか
- 傍聴者 2名
- 報道機関 4社

発言者	内容
	1 開会
	2 委員委嘱・紹介
会長 部長	3 挨拶
事務局	4 議事 (1) 子どもの福祉医療制度の拡充について 資料1に基づき説明 《質疑応答》
委員	受給者負担は、特に精神科医や心療内科にかかる思春期の中高生にとっては、家族にも相談しづらくハードルが高いのではないか。心の不調にも対応できるような医療制度の確立が必要であり、窓口無料化が望ましい。
委員	対象年齢を拡大した審議のときから、窓口無料化についても議題にあがっていた。 資料1に「18歳年度末まで」の対象者を窓口無料化した場合の福祉医療費給付額増加見込額は4億2,000万とある。保護者の負担を考えると、早く無料化した方がよい。
委員	医療費の負担が非常に厳しい、軽減してほしいという声を保護者から数多く聞いた。負担軽減の実現、子育て世帯にやさしい長野市の実現に向けて進めてほ

発言者	内容
委員	<p>しい。</p> <p>令和6年度予算編成では、多くの会派が、窓口無料化について決定してほしいという予算要望を行った。また、市長の市政方針や答弁を踏まえて、福祉環境委員会で議論を行い、市議会としては全会一致で、さらなる拡充に踏み込んでほしい、全面的に応援していくという結論に至った。</p> <p>資料1に、令和9年の「0～14歳」の人数が40,000人を下回る見込みとある。対象となる子どもの人口が減少していくなかで、財政推計をあわせて示してほしい。</p>
事務局	<p>財政推計について、資料を調整して改めてお示ししたい。</p>
委員	<p>0～14歳ではなく18歳までの数値で示してほしい。</p>
委員	<p>対象年齢を拡大したことで、高校生年代の保護者からは安心した、スポーツ活動にも安心して取り組める、といった声が多くあがっている。「みらいハッ！ケン」プロジェクトをきっかけに始めたスポーツ活動などを高校生年代まで安心して取り組むことができるようになるのではないか。</p> <p>一方で、精神医療に繋がってほしい子どもが増えているように感じる。ぜひ窓口無料化をすすめてほしい。</p>
委員	<p>虫歯治療は、軽度だと早く終わるが、重度になると通院回数が増えてしまう。（通院の）ハードルを下げることによって軽度のうちに治療が受けやすくなる。ぜひ窓口無料化を実現させてほしい。</p>
委員	<p>子どもの減少は避けなければならないが、出生率の低下やコロナ禍の影響を踏まえると、資料1の数値以上に加速していくのではないか。</p> <p>税収の減少を考慮しながら、将来的には、18歳を超えた年代についても、視野にいれるとともに、次回の審議会でシミュレーションを示してほしい。</p>
委員	<p>医療機関で500円、処方箋が出た場合、薬局でさらに500円の負担となっている。窓口無償化になるとありがたい。</p>
委員	<p>保育園で子どもがけがをしたときに、園で病院に連れて行く場面がよくある。その際の受給者負担分は、保険によって園が補う場合もあれば、保護者負担の場合もある。窓口無料化されると、平等性が保たれる。（窓口無料化に）賛成である。</p>
委員	<p>窓口無料化によって医療にかかりやすい環境を作ってもらえるとありがたい。</p> <p>大学生は教育費が多くかかり、一人暮らしをする場合も多いため、保護者の立場からすれば、無料化を大学生まで拡大してほしい。全額負担だと医療機関に行き渋るという声も出てくると思う。</p>

発言者	内容
事務局	<p>欠席の委員の意見書を代読する。</p> <p>現在、子どもの貧困、少子化が大きな問題となっており、さらに市内の小児科開業医の高齢化、減少の影響で、小児児童の医療環境も厳しい状況になると予想される。</p> <p>窓口無料化は、前述の問題に対して、一定の効果があると考えられ、長野市医師会、長野市集団会（長野市医師会、更科医師会の小児科医を中心とする小児科医師の会）を代表して、これに賛成する。</p>
	5 閉会